たびえもんは旅のチカラでみんなの夢をかなえる会社です！

TABIEMON

たびえもん通信
第１４２号
2024年１月１日発行

今月のなぞなぞ

Q. 中央アジアの都市。
今日すぐにやってほしい仕事も、
全て次の日に後回しにされるんだって。

たびえもん　検索
Web: https://tabiiku.org

たびえもん旅の思い出

海外旅行自由化６０周年の巻

年末年始、みなさんどこかへお出かけでしょうか？

ニュースを見ると「5類後初の年末年始…」なんて書かれ方をして、そうか一年前はまだ、そんな当たり前の移動や旅行すら制限されていた（本当は制限など無かったのですが、悪く言う風潮が残っていました）のかと思い出しました。自由というのは失われて初めて、その大切さに気づくものですね。

２０２４年、今年は海外旅行が自由化されてから６０年の節目の年です。私も生まれる前のことですが、６０年前まで日本人は自由にパスポートを取得できず、外国へ行くこともできませんでした。経済的に貧しかったということもあるでしょう。当時はまだ年1回、持ち出せる外貨は５００ドルまでという規制があったそうです。

その後海外旅行が一般的になり、いまや日本のパスポートは世界最強とすら言われています。でも諸外国に比べ取得率は下降気味なのが少し残念…。

今年は円安や原油高が一段落することを願いつつ、自由な旅が再び損なわれることがないよう、完全復活の年にしたいものです。（ふねしゅー）

たびえもんの日常を旅して

他力本願ではダメ！の巻

明けましておめでとうございます。

年末年始は関西にいました。大晦日は道頓堀で串カツを食べ、四天王寺で令和5年最後のお参りをして、元旦は北野天満宮と晴明神社に行きました。

どこも人出がものすごく、特に難波界隈はお祭りのような人混みでした。

目立つのは、大きなスーツケースを転がして歩く各国の旅行者です。京都の土産物屋でも、爆買いしているのは決まって海外の人でした。彼らを見ながら「買って！　そして日本の経済をどんどん活気づけてくれ！」と心の中で叫んでいたのは私だけでしょうか？

そんな私が衝撃を受けたのは、次女の「京都は東京より都会だね」という一言でした。言葉の真意をよく聞いてみると、どうやら京都駅周辺に林立する大型店をゆっくり巡りながら、初売りで服やバッグをポンと買ってもらった事が嬉しかったらしいのです。

確かに東京では、通販や地元の店で必要最低限の物しか買っていません。娘の一言で、私も日本経済を回す側である事に気づきました。分かった、銀座、渋谷、新宿、今年は色々な街へお買い物に連れて行こう！（ごっちん）

なぞなぞの答え
A. アスタナ（明日だな）
カザフスタンの首都。1997年に
アルマトイから遷都されたんだ。
日本の建築家が都市設計したそうだよ。

株式会社たびえもん
東京都練馬区練馬２丁目29－29
旅行のお問い合わせはお気軽に！
Tel: 03-6914-8575

東京都知事登録旅行業
第３－６５２３号
全国旅行業協会正会員

◇冬～春のおすすめプランご紹介

　まだまだ寒い日が続きますが、お正月を「新春」と呼ぶように、春の訪れは少しずつ近づいていきます。１月のこれから、春先以降の旅行お問い合わせが増える時期でもあります。
　下記プランを参考に２０２４年の旅のプランを考えてみてはいかがでしょうか？

★ケニア＆モルディブ夢旅行
　https://tabiiku.org/travel/world/maldives04/
　ケニアのサファリでワイルドな大自然を体験し、インド洋の豪華リゾートでのんびり贅沢を楽しむ。そんな夢のような組み合わせができる、たびえもんならではのオリジナルツアーです。

★“太陽の国”ペルー縦断の旅
　https://tabiiku.org/travel/america/peru01/
　インカ帝国の都クスコ、天空都市マチュピチュ、そしてナスカの地上絵、魅惑あふれる南米ペルーの魅力を詰め込んだ充実プラン。ご希望に応じてペルー北部の遺跡巡りなど自由なアレンジをお受けします。

★ベネルクス、花と名画を訪ねて
　https://tabiiku.org/travel/europe/benerux/
　ヨーロッパが二度目、三度目のお客様に人気があるオランダやベルギー、これから春を迎えておすすめの季節になってきます。芸術鑑賞を楽しむもよし、運河の街並みを気ままに歩くもよし。

☆海外旅行の無料お見積依頼
　https://tabiiku.org/ryoko/mitsumori/jform.php